

公開発表会（予備審査）について

課程博士の申請資格

博士課程に4年以上在学（休学期間を除く）

所定の授業科目の履修（30単位修得）

博士課程における研究指導

予備審査合格

◎在学時同様、年に2回（6月・11月）開催の
大学院研究発表会（予備審査）にて発表し、合格する。
**（有効期限は翌年度4月1日より2年以内の
受理審議まで）**

または

◎個別に公開発表会（予備審査）を実施し、合格する。
（有効期限は翌月より2年以内の受理審議まで）

●ただし、博士課程入学から**7年以内**
（休学期間を除く）に受理審議にて論文が受理
される必要があります。

論文博士の申請資格

医学に係る所定の研究期間
（医学の研究歴に関する資格審査）

本研究科実施の論文博士外国語試験合格

※1（本研究科博士課程に入学し退学等した者にとっては、申請資格での
外国語試験に合格している条件が免除される。）

博士課程における研究指導

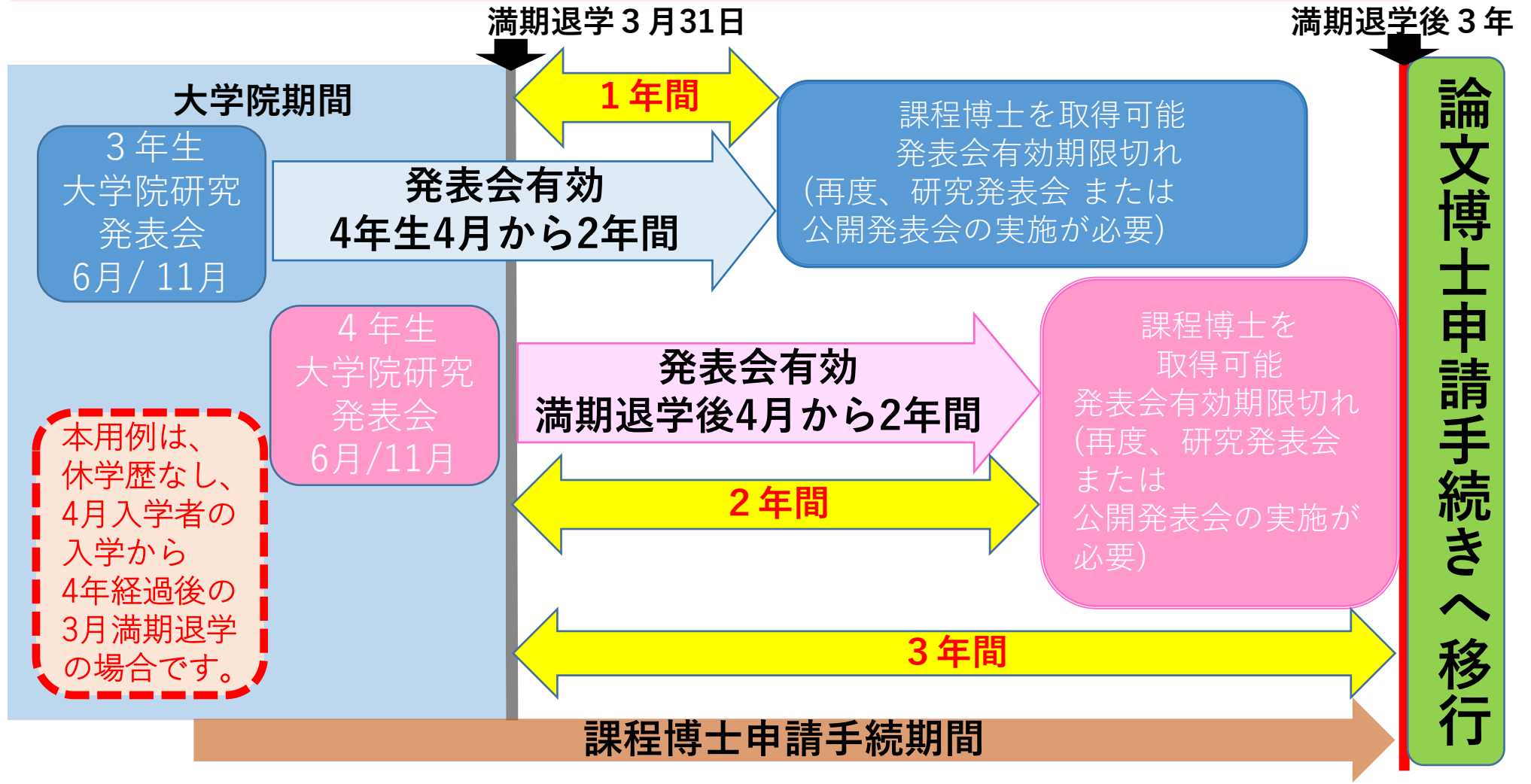
予備審査合格

◎個別に公開発表会（予備審査）を実施し、合格する。
（有効期限は翌月より2年以内の受理審議まで）



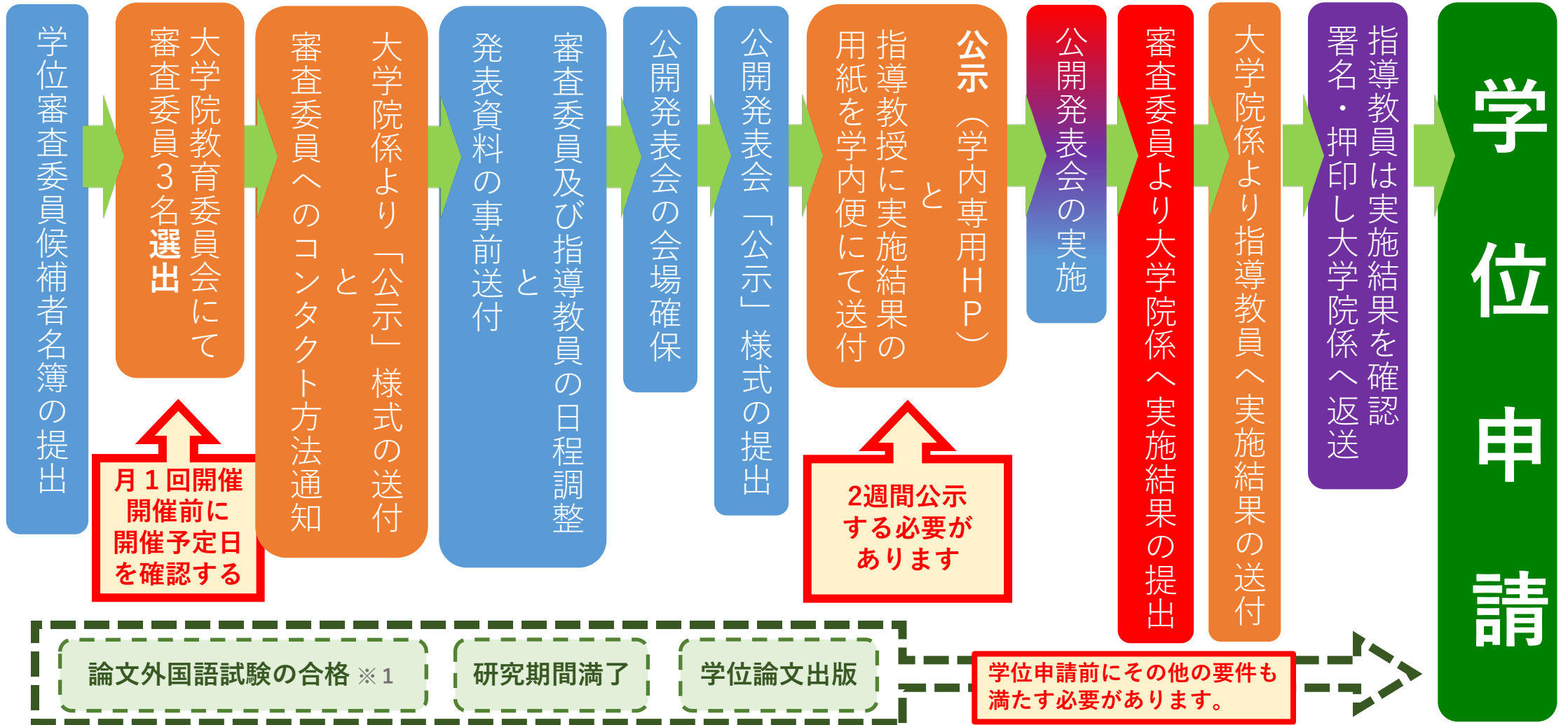
**7年を超えると論文博士
の申請になります。**

入学から休学期間を除き 7年以内に学位論文が研究科委員会で受理されると課程博士学位となる。



- 申請者
- 審査委員
- 大学院係
- 指導教員

公開発表会（予備審査）スケジュール



公開発表会（予備審査）を開催するには

1. **指導教授(員)と相談の上、「学位予備審査委員候補者名簿」を大学院係へ提出。**
大学院教育委員会（月1回開催）にて予備審査委員3名の選出。
大学院係より「学位予備審査公示様式（公開発表会）」データファイルと、決定した3名およびコンタクト方法をメールにて通知します。（5. のとおり発表資料を事前送付。）
2. **選出された3名および指導教授(員)の日程調整。**
（1時間以上〔発表30分、質疑応答および可否判定30分〕の公開発表を原則とします。）
3. **公開可能な場所（会議室、講義室等が望ましい）を予約。**
4. **上記日時、場所を含む必要事項を記入した「学位予備審査公示様式（公開発表会）」を大学院係へ提出（提出は、学位予備審査実施予定日の2週間前まで）。**

大学院係にて医学系研究科ホームページ（学内専用サイト）へ公示。

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/intranet/jimubu/gakumuka/daigakuin/>

大学院係より指導教授(員)へ学内便にて「**学位予備審査実施結果（公開発表会）**」を送付します。



公示ページ

5. 公開発表会（予備審査）を実施。

（PowerPointなどでスライドを準備し、必ずプロジェクターを使用して発表してください。）

準備するもの：発表資料のハンドアウト

「発表する論文の原稿又はPDF」および「論文要旨（A4サイズ1枚、日本語）」

※発表資料は、事前にメール添付で審査委員および指導教授(員)に送付しておいてください。

また、発表当日は【印鑑】をご持参いただくようお願いください。

※当日、指導教授(員)には、大学院係より事前に学内便で受け取られている、「学位予備審査実施結果（公開発表会）」をご持参いただくよう、ご留意ください。

6. 公開発表会（予備審査）実施後、審査委員3名以外の方々にはご退席いただき、審査委員のみで可否を判定。結果を「学位予備審査実施結果（公開発表会）」に署名・押印。

7. 審査委員より「学位予備審査実施結果（公開発表会）」を大学院係へ提出。
大学院係より指導教授(員)に「学位予備審査実施結果（公開発表会）」を送付します。
→指導教授(員)による、判定結果のご確認と署名・押印された
「学位予備審査実施結果（公開発表会）」を大学院係へご返送いただきます。

大学院係より、発表者へ結果連絡します。（合格であれば**予備審査終了**）